令和7年度

まちづくり推進部 増田地域局の方針書

組織名	まちづくり推進部 増田地域局
所属長名	佐藤　孝之

1. 局の使命（ありたい姿）

地域の魅力を発信し「人と地域が燦くまち」を目指して地域づくりを進めます。

2. 局の抱える課題（現状）

・市民に寄り添った窓口対応や適性かつ効率的な事務を執行し、事務ミスの防止を目指します。
・地域ニーズを把握し、活性化につながるような事業の実施を目指します。
・FM計画の着実な推進と所管施設の適正な管理を目指します。

3. 今年度の『スローガン』

歴史と文化を活かし、創意と工夫で地域に元気をもたらそう

4. 今年度の方針

（1）市民に寄り添った窓口対応を心掛け、事務の執行については期限を守って正確に処理します。
（2）地域ニーズを把握し、活性化につながるように事業化を推進します。
（3）FM計画を着実に推進するとともに所管施設を適正に管理します。

5. 今年度の重点取組項目

（1）	実現したい成果	（1）市民に寄り添った窓口対応を心掛け、事務の執行については期限を守って正確に処理します。
	取組内容	①親切な案内表示と円滑な窓口対応に努め、さらにはリモート相談窓口を活用するなど、市民の皆様が利用しやすい庁舎を目指します。 ②多様な相談やクレームに対し、的確なスキルとチーム力の向上に努め、係を超えた応援体制を築きます。 ③事務の執行にあたっては期限を厳守して適正に処理し、事務ミスの発生を防止します。
（2）	実現したい成果	（2）地域ニーズを把握し、活性化につながるように事業化を推進します。
	取組内容	①温泉が無くなった狙半内地区の活性化のための方策を地域住民と連携して進めます。 ②老朽化が著しい亀田及び西成瀬地区交流センターの施設改修計画を各センターの運営協議会と連携して進めます。 ③天下森スキー場周辺の夏場利用について指定管理者や狙半内地区交流センターと協力連携して施設の魅力発信に取り組みます。
（3）	実現したい成果	（3）FM計画を着実に推進するとともに所管施設を適正に管理します。
	取組内容	①令和6年度に作成した旧石田理吉家エリアリノベーション基本構想に基づき実行の可能性を探ります。 ②天下森スキー場の施設整備を継続して実施し、また、接続道路の改良を進めます。 ③増田体育館では雨漏りしており、早急な大規模改修が必要なため関係各課と協議を進めます。

6. 方針に対する年度上期（4月～9月）の取組状況

（1）市民に寄り添った窓口対応を心掛け、事務の執行については期限を守って正確に処理します。

残念ながら窓口対応への苦情や不適切な窓口対応もありましたが、概ね市民に寄り添った対応ができています。今後は苦情の無いように積極的な挨拶を心掛けるなど注意喚起を行います。また、リモート相談窓口の活用については積極的な活用が出来ているとはいえない状況です。

相談、苦情については可能なかぎりニーズに応えられるよう地域局内で複数の職員で担当し、必要に応じ部局をまたいで解決に努めました。

事務の執行にあたっては期限厳守を徹底しており、提出等が遅れることのないようにチェックしています。また、事務ミスについては現時点では発生してはいませんが、今後も気を抜かず防止対策に取組みます。

（2）地域ニーズを把握し、活性化につながるように事業化を推進します。

狙半内地区の活性化策については、住民説明会を開催して現在の状況を説明し、住民ニーズの把握を行いました。住民からは集会施設の要望がありましたので市役所内部で精査し、方針を決定しました。さらに、基本設計の仕様等を確認し、予算の承認をいただきました。

老朽化した亀田・西成瀬の地区交流センターについて、センター長会議において意見交換を行いました。令和5年度に両運営協議会から提出された減築図面案では、一部現実的ではない箇所があるため、今後各運営協議会で必要最小限の機能を有する施設図面等を検討してもらうこととといたしました。

天下森スキー場周辺の夏場利用について、令和3年度に作成した整備計画に基づき、天下森振興公社と意見交換を行い、費用対効果などを検討しました。

（3）FM計画を着実に推進するとともに所管施設を適正に管理します。

旧石田理吉家エリアリノベーション基本構想活用を基に、実際に運用した場合に事業者がいるか、どのような改修内容であれば事業参入できるかなどをサウンディング調査する方向で進めていましたが現時点では停滞しています。

天下森スキー場の施設整備について、9月末をもってTバーリフト等解体工事が終了し、天下森ヒュッテ解体工事の設計書も納品されました。

ペアリフトの大規模整備工事については、折返滑車軸交換工事、制動装置整備工事、原動緊張装置移動トロリー他交換工事、索受装置整備工事など順調に進行しています。また、6月に契約した圧雪車購入については12月のスキー場オープンまで納品されるよう契約業者と調整を行います。

市道東小学校線道路改良については、地質調査、土取場測量設計、不動産鑑定、物件調査業務委託を発注するとともに、地権者や関係機関との協議進め、順調に推移しています。なお、工事施工実施時期については、天下森スキー場関連工事との兼ね合いから、全体工程を再構築し令和11年度完成とすることで調整しました。

増田体育館の雨漏り対策として、5月にアリーナ屋根立ち上がり部分の応急修繕（シーリング等）を行いました。また、9月にはアリーナ屋根ドレン管の応急修繕を行っています。

7. 年度下期（10月～3月）に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

（1）市民に寄り添った窓口対応を心掛け、事務の執行については期限を守って正確に処理します。

引き続き挨拶を心がけるなど注意喚起を行い、来庁者のニーズを的確に把握し、迅速確実な窓口サービスを行います。また、リモート相談窓口の活用方法については課内で事例研究を行います。

相談苦情に対しては、各種研修等を受講し、職員のチームワークの向上、スキルアップに励んでいきます。

事務の執行にあたっては引き続き期限厳守を心がけ、事務ミスの防止については、過去の事例を確認し、同じミスを繰り返さないようにします。

（2）地域ニーズを把握し、活性化につながるように事業化を推進します。

狙半内地区の集会施設について、基本設計の契約業務を進め、施設概要、特に飲用水の確保について、既存水源の調査も平行して行い施設整備を確実に進めます。

亀田・西成瀬両地区交流センターの改修について、改修スケジュールや整備費用を精査し、市の財産経営計画のローリングについて各部署と協議します。

天下森スキー場周辺の夏場利用について、様々な案は出たものの、現実的には令和11年度まではゲレンデを含む周辺一帯で大規模工事が行われる見込みのため、夏場利用の開始は令和12年度以降になる見込みです。それまでに類似施設の視察等を行うなど、情報収集を行います。

（3）FM計画を着実に推進するとともに所管施設を適正に管理します。

旧石田理吉家周辺施設の修理活用について、事業者のサウンディング調査を行うことが適当か、引き続き市役所内部で精査し、状況によっては活用構想の変更も視野に入れて検討を行います。

天下森スキー場の施設整備について、支えい索切詰工事はシーズン終了後の3月に行う予定であり、リフト工事業者との調整を密にする必要があります。また、昨年12月に完成した夏虫沢ヒュッテの瑕疵担保期間である1年を前に建築JVや設計事務所、市建築住宅課と調整を行い、不具合の解消を漏れなく行います。

市道東小学校線道路改良については、用地・補償交渉を進め、準備が整い次第契約手続きを進めます。

増田体育館の大規模改修については、来年度に向けて策定中の「第8次横手市スポーツ推進計画」の中で、増田体育館の大規模修繕が計画的に行われていけるよう調整します。

8. 総括（取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】）